

～未来へのステップアップ型予算～

HPを見る

記事ID 8446

財政課

☎56-0606

予算の概要

本市は平成27年国勢調査速報値で人口が57,593人となり、平成22年からの5年間の人口増加率は10.7% (5,571人)で、全国第6位、愛知県下では第1位でした。人口は今後も引き続き増加する見込みですので、人口増加を支える社会基盤の整備を行っていかねばなりません。

そのため、新年度の予算は、土地区画整理事業推進や長湫北保育園の新設、市の重要な交通機関であるリニモ(愛知高速交通株)への追加出資等、必要な大規模事業等を行うため、一般会計の予算規模は、前年度から2億4,000万円(1.3%)増加の186億4,000万円になりました。

また、特別会計の予算規模は、前年度から1億9,550万4千円(1.7%)減少した113億8,618万6千円になりました。

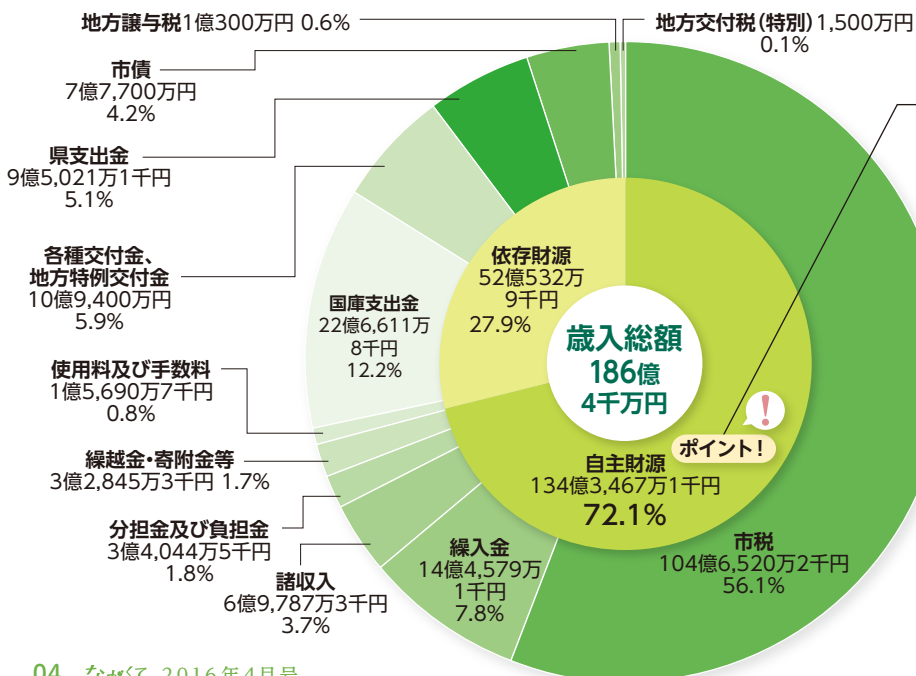
会計名	平成 28 年度	平成 27 年度	差 引	増減率
一般会計	186億4,000万円	184億円	2億4,000万円	1.3%
特別会計	113億8,618万6千円	115億8,169万円	△1億9,550万4千円	△1.7%
合 計	300億2,618万6千円	299億8,169万円	4,449万6千円	0.1%

※特別会計とは…特定の歳入と歳出を一般会計と区別して経理することにより、特定の事業や資金の運用の状況を明確化するために設けている会計です。(例)国民健康保険特別会計

一般会計歳入

歳入の根幹となる市税は、景気の回復や人口増加等が見込まれることから、対前年度比4億2,000万円余(4.2%)の増加を見込んでいます。また、市税の歳入予算額に占める割合は、56.1%となっています。

各基金からの繰入金は、市が洞小学校区共生ステーション整備事業及び卯塚墓園整備事業のために公共施設等整備基金から2億1,000万円余、文化の家大規模改修事業及び長湫西部線修繕事業のために公共施設等管理基金から5億円を繰り入れするほか、必要な財源を補うため、財政調整基金から7億3,000万円を加え、繰入金の総額は、14億4,579万1千円となりました。



ポイント!

自主財源比率が大きい

比率が大きいと国や県などに頼らずに、財源を確保することができるので、自治体の判断で、自由に使い道を決めることができる項目が増えます。一方、自主財源比率が小さいと、財源があっても使途が決まっていたりするので、自由に使うことができません。

また、自主財源が多くを占める市税の中でも、法人市民税の割合が5%程度と低いため、景気に左右されない安定的な財源を確保しています。

将来を見据えた予算編成ができるのも、このような要因があるからです。